

会報

みどりのひろば

発行

第45号

令和3年3月

令和3年3月現在

358 団体

公園緑地愛護会報 / 前橋市公園緑地愛護会連合会

前橋市公園管理事務所
前橋市六供町 1420
TEL 225-2116
FAX 225-2117



ご挨拶

会長 生方 盛夫

会員の皆様には健やかに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

日頃より公園緑地の愛護活動を通して、地域の連携はもとより本市が掲げる水と緑の町づくりに寄与され加えて連合会にご協力を賜りますこと誠に有難く厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、書面決議による連合会総会を行いました。二期四年会長を務められ、温厚な人柄で連合会の発展に尽力された井上廣志会長が退任され、私が後を受けて会長の重責をお受けすることとなりました。

本連合会は、昭和四十七年の創立以来四十八年の歴史と現在三五八団体を擁する伝統ある会であり、身の引き締まる思いであります。就任に当たり微力ながら全力

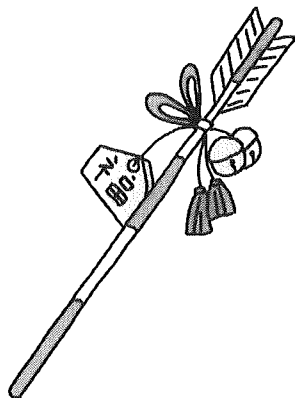
で職責を尽くす所存ですが、連合会の運営は皆様方のお力添えをいただかなければなし得ませんので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、なんとといっても新型コロナウイルス感染症があつという間に世界中に広まり、この拡大防止対策に振り回された一年でありました。

その様な中、昨年八月開催が決まっていたオリンピック・パラリンピックが一年延期となつたり、密になることを避け各種のイベント等が中止となるなどして、経済面にも大きな影響を及ぼしました。

連合会の行事もコロナ禍の中、会員皆様方の安全を第一に考慮し視察研修旅行や他の行事もすべて中止となりました。今年こそ一日も早い終息と、今まで通りの日常生活ができる

ことを願っております。最後に、厳しい環境下ではありますが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。挨拶といたします。



◆子どもたちの楽しい遊び場

上細井第1第2愛護会

会長 竹内 利文

上細井第1第2愛護会では、団地内にある二つの公園や周辺の美化活動を年数回、地域の方々の協力でを行っています。

今年は新型コロナウイルスの流行から、作業する時間を前半と後半に分けて、密にならないように、また全員がマスク着用で実施しました。

超える量になりました。

いつもだと、作業しながら、ご近所の方同士で楽しい会話が広がりますが、今年は会話を控えていたため静かな作業となりました。きれいになった公園には、さつき近くの子どもたちが元気に走り回る姿や、親子で遊ぶ姿が多く見られました。

公園は、子どもたちにとって安全で楽しい遊び場です。これからも、きれいに保ちながら、子ども



たちが元気に遊ぶ姿を見ていたいと思います。

◆町内の憩いの場所

幸塚町愛護会

前会長 高橋 由雄

幸塚町には、公園広場の一角に、平成十五年設立の愛護会主催の花壇があります。

花壇には、チューリップ・日々草・パンジーなどの花が咲き誇ります。その公園広場で、春には樹齢四十年は経過した桜の下でお花見、夏は納涼祭、冬は育成会のどんど焼き、町民の安心安全を守る防災訓練場所、長寿会のグラウンド

ゴルフやゲートボール等を楽しむ場所としても活用しています。

また、幸塚町は「桃ノ木川を愛する会」に所属しており、五月から十一月まで毎月一回、自治会役員を中心に町内の皆様と親睦をはかりながら花壇の整備や草刈りを行っております。この河川緑地は遊歩道が整備され、車も通らず四季折々の花を見ながらのサイクリングや、子供からお年寄りまで多くの人の散歩コースになっており、安らぎの場所でもあります。



一昨年夏には、公園緑地の愛護活動が認められ、市長から団体表彰をいただきました。

この公園広場や花壇をいつまでも、美しく保つように愛護会一同頑張っていきたいと思えます。

そよかぜ公園愛護会

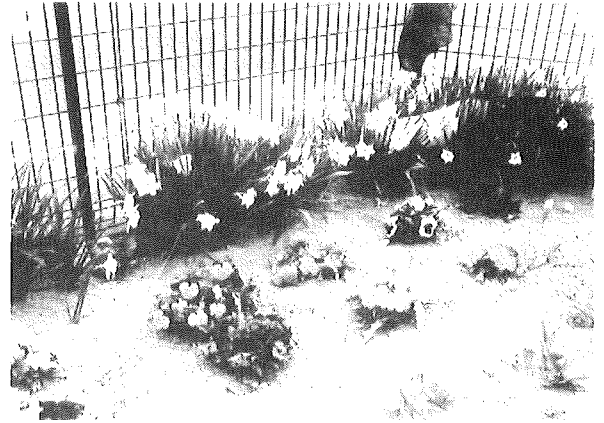
会長 小野沢 克夫

この公園の清掃は、年間を通して毎月、水、金曜日の午前中に、グラウンドゴルフの愛好会の方々と行っております。公園内の花壇には、チューリップやパンジーや水仙などを植え楽しんでいきます。

秋は落ち葉によってご近所さんに迷惑をかけるないように、いつもグラウンドゴルフの会の皆さんと清掃をしており、常にきれいな公園を心がけています。今年、園内に防火水槽が設置されました。また、新しいバリアフリーの公衆トイレも設置されました。十月には公園の木の剪定が行われ、感謝申し上げます。



「そよかぜ公園」



公園及び

緑地帯の

活動報告

駒形町葦川東公園愛護会

会員 相川 道代

例年であれば、公園清掃及び組内の緑地帯清掃を年六回実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のため「緊急事態宣言」

「チューリップのふりこりナに負けないで！」

山王町二丁目葦川西

葦川東公園愛護会

会長 塩原 義生

「先生ダンゴ虫がいたよ!」「ミスもいたよ!」公園に大歓声。

今年には葦川西公園、葦川東公園を利用している、近所の学童クラブの小学生が、チューリップの球根を植えました。

新型コロナウイルスの感染が増え、感染防止策を考え利用していきません。球根の植え付けは初めての

が発令され、組員の感染リスクを考慮して公園清掃を延期してはどうかという意見があり、四月の全組員での清掃は中止になりました。緊急事態宣言解除後、作業における留意事項を踏まえて、活動を再開しました。参加を強制することのないよう協力という形を取り、出席名簿を作成し体温、体調、マスクの着用を記入し、三密にならないよう注意しました。その後、六月から十月の第一日曜日、二班

活動でしたが、クラブの先生や自治会の役員が協力して、事故なく行いました。来年には期待通り、「美しいチューリップ」が咲くと思

「葦川西公園」は、納涼祭や高齢者のグラウンドゴルフ、学童クラブ、少年サッカークラブ、近隣幼稚園の運動などに利用されています。

「葦川東公園」は、高齢者や親子連れの利用が見受けられます。

今年度、毎月の清掃活動はウイルス感染症防止のため、中止

ごと午前六時から一時間、計五回活動をしました。

また組内の緑地帯は人員不足と高齢化に伴い、作業に負担がかかるため、市に年三回の除草をお願いすることで時間内に終わらせることができました。また公園内のケヤキの剪定及び水飲み場の配管の修繕をしていただき、清掃後は伸びきった雑草がなくなり、広々としてとても気持ちの良い公園になりました。

となりました。有志の方に除草活動を実施していただき、感謝をしています。

災害時の避難場所、また憩いの場所として、町民に愛された公園です。



高花台一丁目

藤沢川河畔緑地愛護会

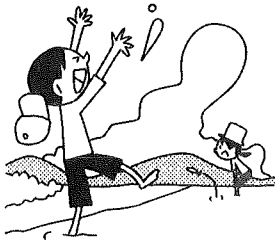
会長 南雲 玉充

高花台団地内を流れる一級河川藤沢川、河畔にある遊歩道、多くの町民に散歩道として利用され、愛されています。夏には、川をせき止めて子供たちのマスつかみ取り大会、大人たちのバーベキュー大会が開催されるふれあい広場です。

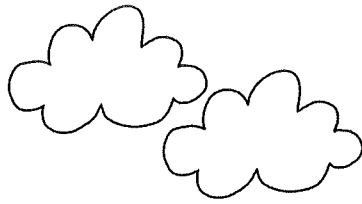
昨年は台風の影響で、また今年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、行事は中止となり非常に残念です。

そうした中ですが、五月から十月の六か月間、月初めの日曜日に輪番制担当班による清掃活動を実施しました。

老朽化した安全柵の交換も行われ、気持ちの良い景観となり散歩も楽しくなります。街中にもどりの多い、住みやすい街づくりの一役を今後も愛護会を通し、継続し進めたいものです。



藤沢川河畔、防護柵部品を交換し、美観が良くなりました。



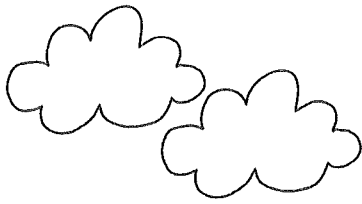
藤沢川の中洲の堆積物を除いた状態。来年は「マスつかみ取り」が出来る状態になりました。



台風により堆積物で藤沢川中洲盛り上がる



藤沢川河畔の清掃活動



藤沢川河畔公園で川をせき止めて、「マスつかみ取り」2年前



岩神さくら公園愛護会

会長 上野 厲治

晩秋風に木々は葉を落とし、プランターの花木も果てて、公園も寂しい季節になりました。

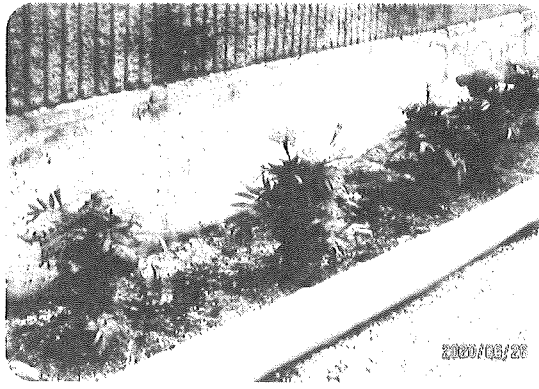
訪れる人の人数も減る中、少しでも明るく楽しい気持ちでコロナ禍を忘れてほしいと、当愛護会の女性部の方々に、冬に強い花や、春を楽しみにチューリップの球根を植えました。



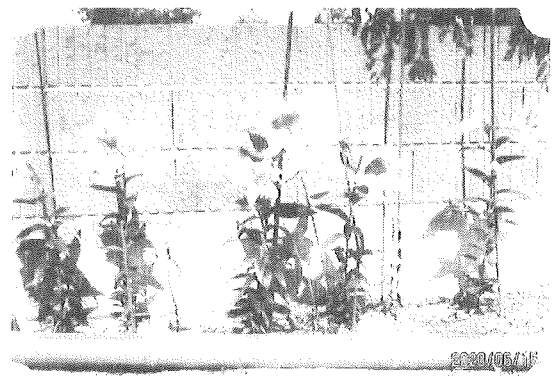
川曲町緑地愛護会

会員 内田 昇

今年にはコロナ禍の中、コロナ、コロナで毎日三密回避、マスク、手洗い、遠方への旅行の自粛などで、コロナから身を守る事で大変な一年でした。まだまだ心配は尽きません。この様な中、休むことなく緑地公園を管理してきたのは、町の年配者の仲間、川曲町ゴルフ愛好会の皆さんです。



日曜日、雨の日は除きますが毎日、早い方は朝八時頃には公園に来て、自主的に草取りや清掃を行っています。やがて三十分後には都合のつく方は皆集まり、花の水やり等写真のようにきれいな公



園にと努力しております。

おかげで春にはスイセンの花が咲き、とぎれることなくユリ、チューリップと続き、夏にはグラジオラス、サルビア、コキアなど、



秋にはマリーゴールド、パンジーと一年を通し花が咲き、地元の皆さんにも楽しんでいただいております。冬の寒い中でも花があります。ランドゴルフでも色々趣向を凝らして皆さんで楽しんでおりますので、風邪を引く人はおられません。是非一度皆様もお出かけください。歓待したいと存じます。

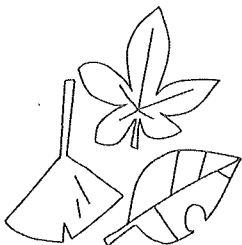
上宿公園愛護会

会長 吉田 一男

荒牧神社の南にある上宿公園はケヤキ、サクラの落ち葉が多く、神社のイチョウから落ちる銀杏の掃除は大変です。十二月の清掃では、ごみ袋五十袋を超えるほどでした。

毎月第一日曜の朝7時から清掃を開始しますが、家族で参加する方が数家族おり、小学生も6名ほど手伝っていただき、毎回四十名から五十名で活動しています。またベテランの方も多く、花壇の花が枯れるとばら園から刈り込み道具を調達し、あつという間に刈ってくれるので助かります。除草剤散布の時期も的確に指示をいただき、公園管理に役立っています。

上宿公園の管理は小学生から高齢者までの方々のご協力を得て成り立っています。今後も利用者が気持ちよく遊ぶことのできる上宿公園にしたいと思います。



公園管理一年を振り返って

龍蔵寺ふれあい

公園愛護会

会長 洪川 周次

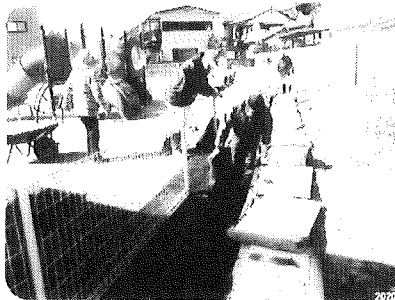
新型コロナウイルス感染症で明け暮れた令和二年、龍蔵寺ふれあい公園愛護会の活動も、予定していた公園清掃が中止になるなど大きな影響を受けました。

このような状況下においても、公園愛護会は人数制限やマスク着用といった感染防止対策を講じて公園の管理運営を実施してきましたので、一部を紹介します。

公園のフェンスに防草シートを張り巡らし、雑草がフェンス下に生えないようにしました。これにより公園の雑草取りが楽になりました。(二月二十六日、二十七日実施、写真一)

植栽では、前橋市農協婦人部の御支援をいただき、公園の西側にサルビアと日々草を植え付け、公園に彩りを添えていただきました。(六月二十四日実施、写真二) 公園の一斉清掃は、町内の老人会である楽寿会の皆さんと子供育

成会の父兄の皆さんの御協力のもと行われました。(九月二十六日実施、写真三) 今年もコロナ禍は続くものと思えますが、防止策を講じ、適正な公園管理を実施していきたいと思っています。



(写真一)



(写真二)



(写真三)

カ丸グラウンドの活用

カ丸団地愛護会

会長 高木 秀昭

カ丸グラウンドは、昨年9月から群馬県スポーツ協会傘下のオールインスポーツクラブとカ丸団地愛護会が連携して整備・運営を新たに始めました。下川淵地区のグラウンドゴルフ、ゲートボール、スタージャイルの主会場として、参加者一五〇名、二〇〇名の大会を月5〜6回開催し、大会日以外もほぼ毎日のように地区愛好者の皆さんが練習に励んでいます。



写真は昨年十一月に実施したカ丸町自治会主催の子供達からお年寄りまで参加した「ふれあいグラウンドゴルフ大会」の様態です。コロナ禍でいろいろと生活に自粛が強いられる中、日頃のストレスを大いに発散し、地域のふれあいを深める機会になりました。グラウンドは除草・整地と大変な労力を要しますが、これからも地区の愛好者の皆さんと一丸となって整備し、活用していきたいと思えます。



富士見町 原東

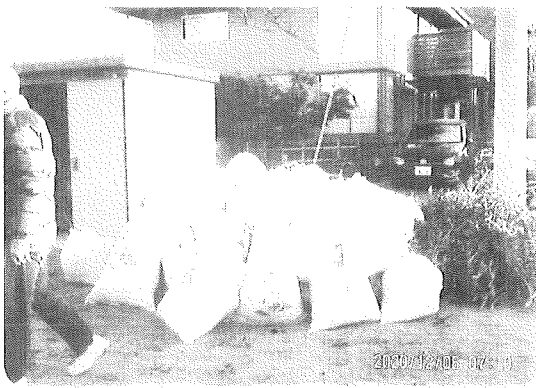
ふるさと公園愛護会

会長 小見 敏博

わが原東では五月から十一月までの七か月間、各班の担当月を決め七十名ほどでふるさと公園の清掃を行っています。特に梅雨どきから夏にかけては草も多く、力のいる作業になります。

普段は子供たちの遊び場として使われ、夏はラジオ体操、軟式野球、十月には防災訓練など、区民の集まる場となっています。

今年にはコロナウイルスの影響で五月、六月の清掃は自粛しましたが、七月からマスクを着用し、密を避けるようにして清掃を実施し



ました。公園清掃は区民同士が顔を合わせて話をする機会でもあり

ます。また、自治会長の話を聞いたり美化委員からごみの出し方の注意もあります。

最近には家にもつてばかりではと家族で遊びに来る人や、ストレッチをするお年寄りも見かけます。

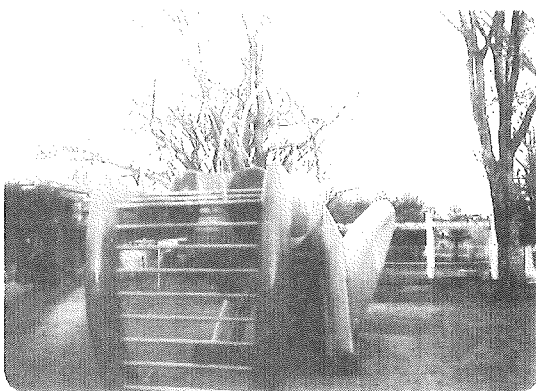
十一月にチューリップの球根を市からいただき、五十個植えまし



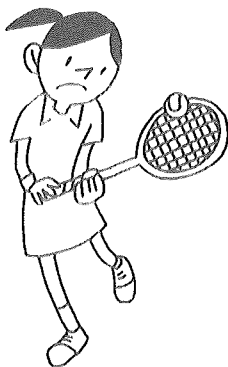
荒牧町公園愛護会

会長 村松 春美

公園の真ん中に大きなカマキリの遊具があり、子どもたちがすべり台で楽しんでいきます。桜の太木があり、春には美しく咲きます。また、けやきの大木もあり、夏には緑でおおわれ、公園を利用する人々が涼んでいます。新しいトイレも出来上がり、北側はテニスコートもあり、憩いの場として多くの人たちが楽しんでいきます。そして最大行事であるお焚き上げを、毎年一月に行います。ダルマやお飾りを焼却して、大勢の住民や子どもたちが集まります。甘酒や豚汁をふるまい、子供たちに抽



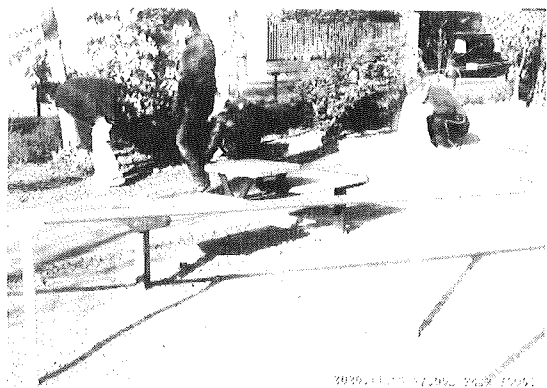
選会を行い、楽しい一日になります。今年最後の清掃はコロナ対策でソーシャルディスタンスを守り、公園内はきれいになりました。



また皆で集える公園に

天大ふれあい公園愛護会
会長 阿部 賢次

当公園は平成二十七年、市に公園として整備していただき、天川大島町住宅自治会有志ボランティアで維持管理をしています。これまでは毎月定期的な花壇の手入れや清掃等を行い、町内の方々の交流の場となっていました。試行錯誤しながらの花壇作業にも大分慣れ、やりがいを感じられるようになりました。今年はコロナ感染防止のため同様の活動は不可能で



したが、三密を避けながら少人数で花の絶えない公園を維持しています。

今年は春から夏にかけて雨が多く公園内がぬかるんだため、公園管理事務所から砂利をいただき皆さんと一緒にならしました。地面のぬかるみも解消され快適です。園内には遊具や体づくりの運動器具があり、地域外の方や保育園の散歩等にも活用されています。

これらは皆さんの尽力により、整備された便利な公園との認識が浸透した証です。コロナウイルス

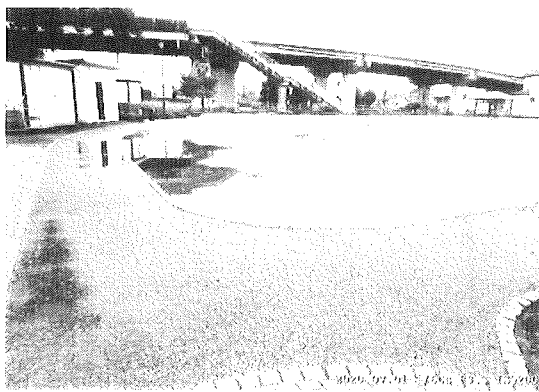
暗中模索の公園活動

南堂木公園愛護会

会長 関口 志朗

新型コロナウイルスの感染拡大で始まった新年度、当初は報奨金の有効活用で地域の皆様が集まる一斉除草の際に、概ね百名程の方々全員に鉢植の花を準備し植栽していただく試みや、当日参加してくれた子供たちにお菓子の

感染症が一刻も早く収束し、再び地域の方々が楽しく集える日が来るのを願ってやみません。

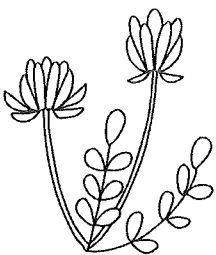


ちよっぴりプレゼント等の企画をしていたところに、公園清掃、除草等の集団での作業の自粛の通知が届きました。

これを受け愛護会三役は手作業による除草を始めましたが、雑草よりも腰を心配するメンバーでは、広い公園内での作業は遅々と進みませんでした。

そこで考えたのが、刈払機の無料貸し出しです。初めて取り扱うメンバーと、周囲の住宅へのエンジン騒音等の配慮を行い、塩飴やスポーツドリンクを持ち寄り、暑い夏に安全第一で取り組んだ結果、予想以上の仕上がりになりました。

落ち葉の季節となり、最後にケヤキやモミジの剪定を行いシーズン終了と思ったら、春を待ちきれない雑草が早くも顔を出しておりました。



「コロナに負けず、みんなで」

横手わせだ

緑地公園愛護会

会長 小阿瀬 義孝

コロナ禍の中、愛護会活動が危ぶまれましたが、年5回の清掃活動のうち、4回の活動を行うことができました。

土曜日の早朝、約四十五分間、マスクをしながら雑草と悪戦苦闘。作業の後は、きれいになった公園を眺めながら、毎回すがすがしい気持ちになっています。

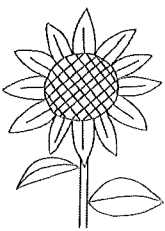
公園の花ゾーンでは、「花結びの会」が中心となり、一年中素敵な花々が見られるように手入れがなされています。六月のアジサイの花がともきれいです(写真)。

例年この公園で行われている「トライアングルフェスタ」。この行事は、当会が地域づくり推進協議会と共に実施する「花まつり」に加え、「のびゆくこどものつどい(青少年健全育成会)」、「ふれあいの広場(社会福祉協議会)」を合同で行う一大行事です。

今年が残念ながら中止になって

しまいました。早くコロナが落ち着いて、盛大に開催できることを祈っています。

その祈りを込めて、花ゾーンに「大輪のひまわり」を描いた「花結びの会」自作のテーブルを置きました(写真)。作業の合間に休憩するのちようどいい場所になっています。



心ない人への警告

文一松前公園愛護会

会員 大澤 諭

私たち文一松前公園愛護会は、緑豊かな文京町一丁目松前公園を中心に、公園美化活動を行っています。

令和二年度はコロナ禍での清掃で、マスク着用や密集、密接を避

けながら、高年クラブやグラウンドゴルフメンバーの方々にも活動の協力をいただいております。小さな子供たちに安全で楽しく遊んでもらえるよう、砂場の掘り起こしを行っています。

ところが夏の日、清掃用具収納倉庫が乱暴され、側面に凹みが見つかりました。簡単な修理で雨漏りの心配もなく使用可能になりましたが、心ない一部の人の行為で地域住民が大切にしているものを傷つけられ、誠に残念なことです。そこで、倉庫に警告ポスターを貼りました。効果があつたのか、その後乱暴がなくなりホッとします。

これからも、お祭り、防災訓練、グラウンドゴルフ等の利用、幼児とお母さんの憩いの場として、きれいな公園をめざします。

おしらせ

公園内の設置物への損壊行為は刑法の「器物損壊罪」で罰せられますので

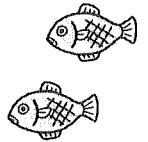
おやめ下さい!!



文京町一丁目自治会

ポスター

錦鯉のいる公園



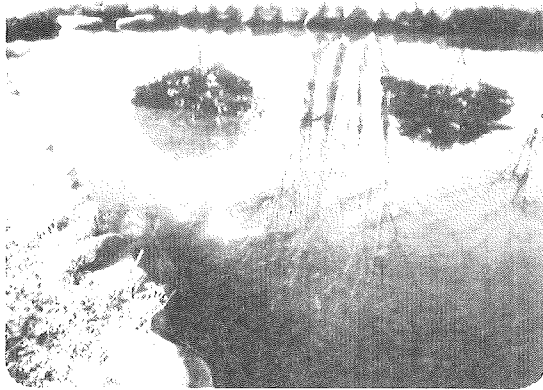
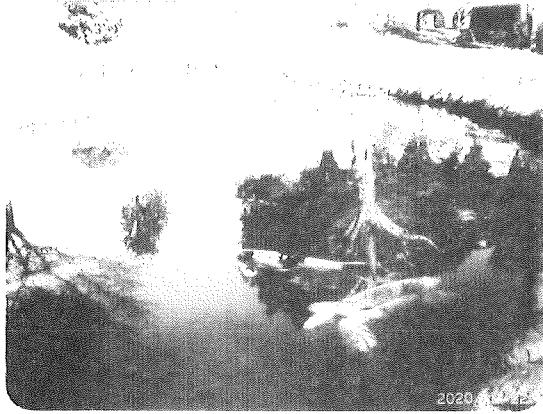
産泰公園愛護会

副会長 萩原 一夫

産泰公園の池にはきれいな錦鯉がたくさん泳いでいます。鯉を飼うようになってから、親子連れや散歩途中の方が立ち寄るようになり、楽しんでるように思います。また公園内には防犯灯を付けていただき、背の高い木や生い茂っていた木などを市の方々に剪定していただきました。以前から、夜の公園付近は防犯の面で不安な声が挙がっていましたが、外から

も見通しがよくなり、防犯灯があることで明るい公園となり、安心していただけると思います。

月に一回の草刈りは、マスクを着用し密にならないように気を付けながら、短時間で作業が終わるように心がけました。皆様がこれからも公園を気持ちよく、安全に利用できるように公園を守っていきたくと思っております。



公園内での活動

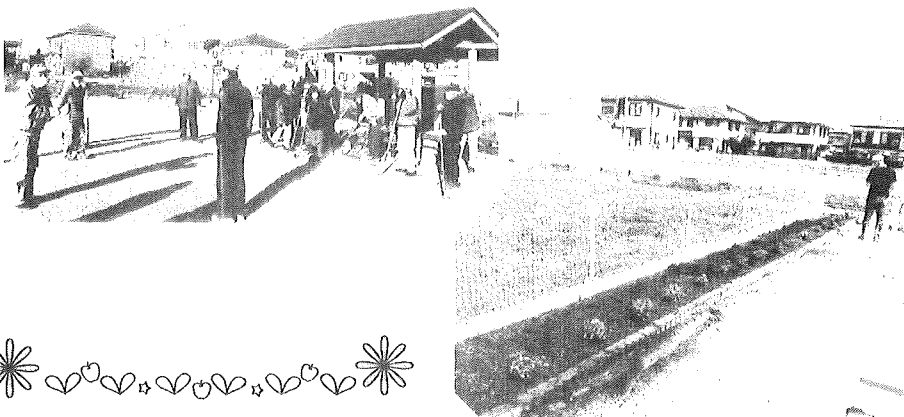
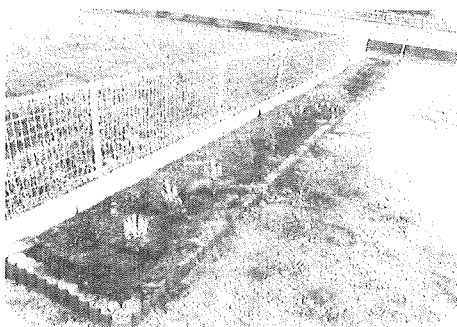


江田町緑地愛護会

会長 富澤 徳一郎

江田町緑地は平成三十一年四月一日より利用開始し、江田町住民は長年待ち焦がれていた公園が出来て大満足です。毎月第一日曜日は緑地公園清掃日で、大勢の各種団体の老若男女が集まり、和気あいあいと掃除をしながら会話を楽しんでおります。また各種団体の球技も当公園で行い、体を動かして楽しみ、健康に努め、脳の活性化に励んでおります。また、季節

の花を植え、愛でております。以上の活動は厳格に三密を回避し、ソーシャルディスタンスを守り、飛沫を防ぐことを心がけております。



南部拠点緑地1号・2号公園 愛護会の設立について

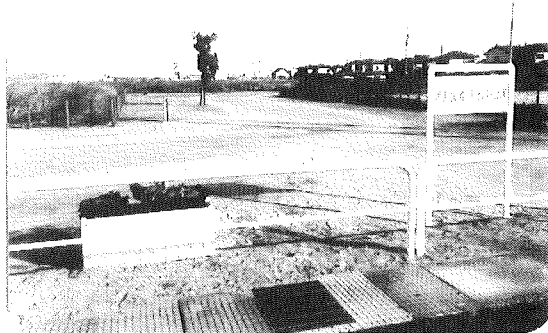
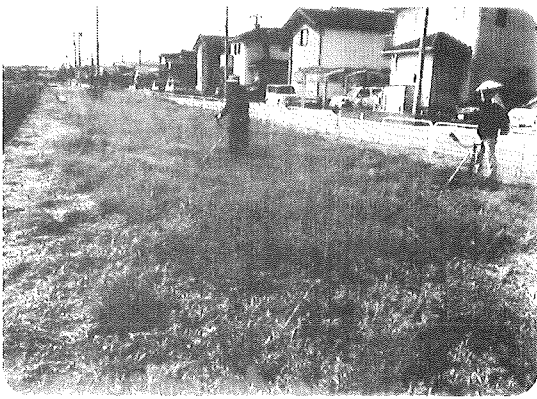
南部拠点緑地1号・2号

公園愛護会

会長 狩野 久史

本公園は平成二十七年に前橋市南部拠点西地区土地区画整理事業の一環として整備されました。

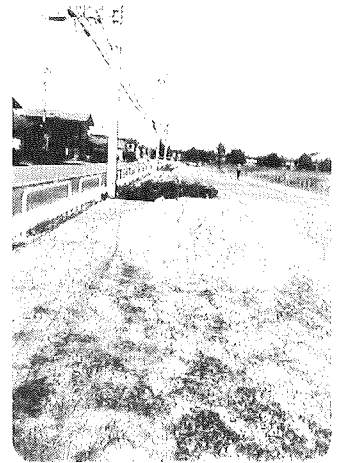
下川住宅団地に隣接してできた公園で、今まで管理が行き届かず、通学路を通る子供たちからは「草ぼうぼう公園」と揶揄され、草は生え放題、人も寄り付かない公園でした。



特に二号公園は幅十三m、長さ四〇〇mのL字型の特異な形をした公園で利用方法が見出せず放置されていきました。

本格的に令和二年四月から愛護会を設立するとともに、荒れ放題の公園の除草が始まりました。

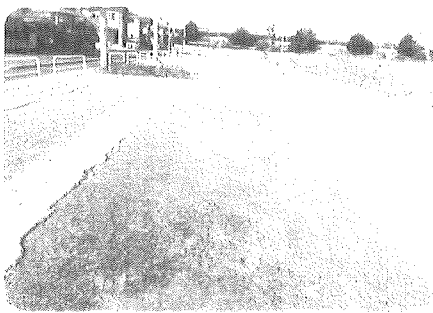
十月の除草終了後に、公園の活用方法について協議、高齢化率の高い団地の住民が安心して利用でき、ウォーキングやランニングが楽しくできるコースを設置することに決定しました。公園管理事務



所に相談し、足に優しく負担の少ないゴンベ砂を利用したコース設計が始まりました。

そして、一周八〇〇mの十分な距離を備えたコースが十二月に完成しました。素人の会員が知恵と労力を結集して作った公園です。是非多くの皆さんに利用して欲しいと思います。

今後も住民が安心して利用でき、語らいの場となり、健康増進に貢献できる公園づくりに励みたいと思います。



朝日町三丁目

広瀬河畔愛護会

会員 佐々木 洋之

俳句三首

晩秋

一 冬晴れや

松ぼっくりを

拾う子等

二

冬の朝赤城の
雄姿仰ぎ見る

三

ゴミ袋銀杏の
枯れ葉一杯に



第一天川町公園 愛護会の紹介

天川公園愛護会

会長 太古前 征弘

ご存知の通り、前橋市には地域は離れているが天川町が二か所存在し、うち我が第一天川町は一六二〇から一六七〇番地内の地域である。町内には二つの公園があり、大きい公園は天台橋公園と称し、昨年公園愛護会が国土交通大臣より表彰を受けた。もう一か所は天川公園といい、第一天川町公園愛護会が結成されている。目的は両公園を愛護し、公園内周辺の美化活動を行い、花と緑のある町民憩いの場所とし、併せて会員相互の親睦を図ることだ。事業は随時花木の種まき、移植、水やり、除草等の手入れを行っている。会長は、昨年度まで前橋市公園愛護会連合会長を歴任した井上廣志氏で、元第一天川町自治会長経験者で町内の水戸黄門に匹敵した人望の厚い方でもあり、第一天川町公園愛護会長を長年務めている方でもある。当町愛護会の会員は会長以下三十四名だ。

春夏秋冬、公園内には一年中花が咲き絶えず、公園散策来園者は心を和ませてくれる。井上会長は腕に技術があり、現在高齢者ながら技術の腕を買われ、勤務のかたわら会員を一束にまとめ、来園者に喜ばれる花の咲いたきれいな公園づくり、多忙な時間を割き先導してくれている。前述の、国交大臣表彰も当然であろうと私的には理解できる。一方、天川公園では昨年公園内に防火水槽を建設して、工事中のため花の咲く樹木は休止した。既に四十数年経たソメイヨシノの桜が十本、椎の木、柿の木、ヒマラヤ杉三本、皐月、キウイ等が大木となり、秋には落葉が民家に飛散するため、公園管理事務所より多大なご配慮をいただき公園外枠に落葉の飛散防止網を張っていただいた。あわせて木の剪定をしていただき、花の咲く植木等は、皐月のみで閑散としている状況である。公園緑地愛護会連合会よりいただいたチューリップの球根百個および十鉢と、天川地区地域づ

コロナ禍の 公園管理について

結婚の森穴田公園愛護会

会長 佐伯 和則

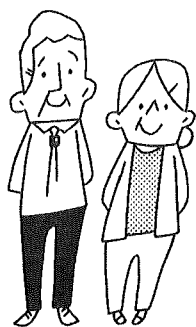
穴田公園は赤城南麓の高台に位置し、平坦なテニスコート2面程度の敷地で主に長寿会の皆様がグラウンドゴルフに利用しており、その繋がりで同会の伝統事業として清掃・グラウンド整備等の御協力をいただいております。

くり協議会よりいただいたパンジー十五鉢くらいを、公園愛護会の会員により水やりの管理を行っている。今後は狭いながら天川公園の片隅に花壇を造り、天台橋公園に咲く草花を移植して、来園者に目の保養をしていただけるよう、心む綺麗な公園を目指して活動していきたい。



令和二年初頭からのコロナ禍は今も猛威を振るい、世界中の多くの人々が不安と闘い、医療関係者におかれましては命懸けの対応をいただいております。地域のふれあいの場であったグラウンドゴルフも我慢の自粛に努め、それでも夏場の警戒度1の引下げ後の僅かな期間では3密回避の新しい生活様式を実践し、清掃活動と併せて数回行いました。

コロナ禍長期化は多くの人々が覚悟をし、様々な自治会活動の制限が必至とされるところ、公園整備の主力である長寿会の更なる高齢化と会員減少の現実を踏まえ、自治会としての大切な業務推進の一つとして工夫・改善に努めて参りたいと考えています。



原町公園愛護会

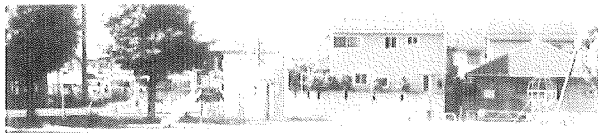
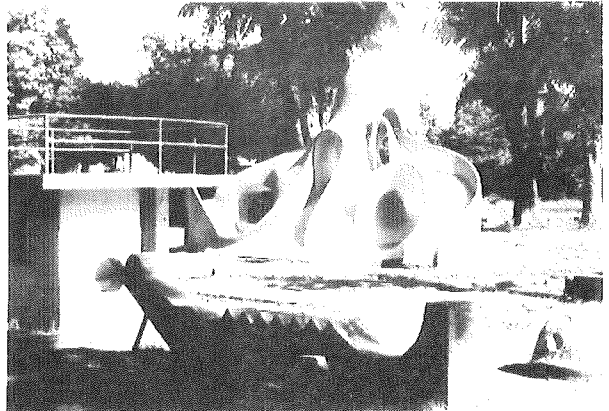
会員 中村 晴二

当町内には、六ヶ所の公園があり、うち二ヶ所は公園近隣の人達がそれぞれ愛護会を組織し、管理しております。その他の四ヶ所を自治会役員を中心に、町内各種団体及び近隣住民と協力し、管理しております。

最も面積の広い原町公園は、毎年自治会主催のスポーツ祭、納涼祭、防災訓練等を実施し、またグラウンドゴルフ、少年サッカー等住民の憩いの場、ふれあいの場として利用されております。

その他の新東橋公園、たこ公園、白樺公園は幅広く、気持ちよく利用されるよう、それぞれ年四〜五回程除草や植栽の剪定や落ち葉の収集に汗を流しております。特に雑草の成長の早い時期には、市から大型草刈機を数回借用し、八台ほどの肩掛式刈込機とともに除草に努めております。

今後も可能な限り、町内住民はもとより、利用される皆様が安心、安全に気持ちよく利用できますよう、維持・管理に努めていきたいと考えております。



死角の少ない公園に

朝日台公園愛護会

副会長 赤岩 浩司

朝日台公園は、大胡町の荒砥川東にあります。高台に高低三段の広場を持ち、樹木に囲まれた公園です。暑い時は高さのある木陰に人気があります。その反面、環境面からの落ち葉対策やスズメ蜂

小動物への警戒も必要です。

見通しを重点に置き草刈り、樹木の刈込み、剪定、藤棚剪定、花の植替え等の整備を行っております。その主力は、愛護会活動三回、老人クラブの奉仕活動二回が年間活動の中心です。老人クラブには、グラウンドゴルフ練習の前に清掃の協力を得ています。

今年は密を避ける行動を心がけました。有志を募り、事前に草刈り、低木の刈込み、サザンカ等木の強剪定で草や枝葉を小分けにまとめました。このほか、ベンチやテーブルのペンキ塗りを行いました。事前の手入れで当日の作業区分ができ、分散化した活動になり、見通しの良い公園になりました。

今後も分散化した活動を心がけ、多くの方に利用してもらい、役に立つ公園になるようお願いいたします。



新しい仲間

新設公園愛護会紹介

令和二度前橋市公園緑地愛護会連合会に加入しました。よろしくお願いいたします。

(前号掲載以降)
令和二年度実績 六団体

下細井南愛護会

会長 富田 敏夫

南部拠点緑地一号公園愛護会

会長 狩野 久史

南部拠点緑地二号公園愛護会

会長 狩野 久史

下大島町みずき野緑地帯愛護会

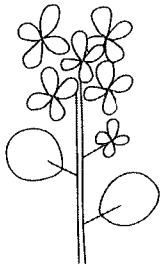
会長 角田 賢志

銀座公園愛護会

会長 荻原 高志

アナベルの里づくり愛護会

会長 笹岡 好和



「アナベルの里づくり」

アナベルの里づくり愛護会

会長 笹岡 好和

今から四年前に、地域づくり推進協議会「環境部会」の事業の一つとして始まった、アナベルの里づくり計画。「アナベル」はアジサイの一種で、白い大きな手毬のような花が特徴で、六月から七月にかけてまん丸の花が咲きます。

下川淵公民館花壇に植えた十本から始まり、各所に植栽を進めてきました。

四年目となる今年度は、環境部会長の鶴光路町笹岡自治会長を中心に、公民館南の道路沿いの植樹帯に集中して植えることに。十年以上前からアナベルの植栽を行っている玉村町福島地区の方から貴重な助言をいただきながら、約三四〇mにわたっての植栽を計画し、同時に十一月一日付で愛護会を立ち上げました。

十一月二十七日、二十八日の二日間をかけて、愛護会会員の手で穴掘り、用土入れ、植栽、水やりを行い、約百二十本の苗を植えました。



まだ小さな苗のアナベル。しっかりと根を張り数年後に白い大輪を咲かせることが待ち遠しいです。そしてこの取り組みが広がり、愛護会の名の通り、たくさんのアナベルが咲く下川淵地区になることを願っています。



編集後記：

はじめに会報「みどりのひろば」第四十五号を発行するにあたり、ご多忙の中、原稿や写真をお寄せくださいました方々に厚くお礼申し上げます。全ての原稿を掲載するため、原文の一部を修正、簡素化等させていただきました事、写真の一部しか掲載できなかった事をご容赦願います。

会員の皆様には、日ごろより公園の維持管理・美化活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響で、例年通りの活動を行うのが難しい一年でした。そんな状況下でも、各愛護会の工夫を凝らした活動を、この「みどりのひろば」でご紹介できたかと思えます。

今後も引き続き、安心安全に利用することのできる公園、緑地、街路樹の愛護活動にお力添えいただきますよう、よろしくお願いいたします。

